

## 2019年度CO<sub>2</sub>排出実績（速報値）について

2020年10月14日  
電気事業低炭素社会協議会

電気事業低炭素社会協議会（以下、協議会）は、このたび、2019年度の会員事業者のCO<sub>2</sub>排出実績（速報値<sup>※</sup>）をとりまとめました。

その結果、協議会全体における2019年度CO<sub>2</sub>排出量は3.45億t-CO<sub>2</sub>、CO<sub>2</sub>排出係数は0.444kg-CO<sub>2</sub>/kWh（いずれも調整後の値）となりました。

2018年度実績と比較して、排出量、排出係数ともに減少しております。

これは、安全確保を大前提とした原子力発電の活用、再生可能エネルギーの活用および最新鋭の高効率火力発電設備の導入などに継続的に取り組んだ結果であり、販売電力量に占める非化石エネルギーの比率が増加したことなどによるものです。

協議会としては引き続き、PDCAサイクルを展開することで、目標達成に向けた取り組みの実効性を高めてまいります。

※ 現在、国による確認が行われており、今後、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表されるCO<sub>2</sub>排出係数の実績により修正となる可能性があります。

### 【参考】2018年度実績（いずれも調整後の値）

CO<sub>2</sub>排出量：3.72億t-CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>排出係数：0.463kg-CO<sub>2</sub>/kWh

【ご参考：電気事業低炭素社会協議会 会員事業者（9/30時点）】

会 員	<p>イーレックス(株)、出光グリーンパワー(株)、出光興産(株)、伊藤忠エネクス(株)、HTB エナジー(株)、ENEOS(株)、エネサーブ(株)、(株)エネット、(株)ネギア・ソリューション・アンド・サービス、(株)F-Power、MC リテールエナジー(株)、大阪ガス(株)、沖縄電力(株)、(株)オプテージ、オリックス(株)、関西電力(株)、関西電力送配電(株)、(株)関電エネルギーソリューション、九州電力(株)、九州電力送配電(株)、(株)Kenes エネルギーサービス、(株)サイサン、サミットエナジー(株)、(株)JERA、四国電力(株)、四国電力送配電(株)、静岡ガス&amp;パワー(株)、シナネン(株)、ダイヤモンドパワー(株)、中国電力(株)、中国電力ネットワーク(株)、中部電力(株)、中部電力パワーグリッド(株)、中部電力ミライズ(株)、テス・エンジニアリング(株)、テプコカスタマーサービス(株)、(株)テレ・マーカ、電源開発(株)、電源開発送変電ネットワーク(株)、東京ガス(株)、東京電力エナジーパートナー(株)、東京電力パワーグリッド(株)、東京電力ホールディングス(株)、東京電力リニューアブルパワー(株)、東北電力(株)、東北電力ネットワーク(株)、日鉄エンジニアリング(株)、日本原子力発電(株)、日本テクノ(株)、プロスペック AZ(株)、北陸電力(株)、北陸電力送配電(株)、北海道電力(株)、北海道電力ネットワーク(株)、丸紅(株)、丸紅新電力(株)、三井物産(株)、ミツウロコグリーンエネルギー(株)、楽天モバイル(株)、リコージャパン(株)、(株)Loop、(株)ユーラスグリーンエナジー</p>
	以上62社

以 上